

5.1 建築デザイン分野

幅広い建築計画理論と美的素養を基に、建築の企画・計画の流れを把握し、建築・都市という実体にまとめ上げ、デザインする能力を有する建築家・建築設計技術者を志向。

	1年				2年				3年				4年				必修等
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	
外国語科目	英語1	英語2	英語3	英語4													必修 8単位
基礎科目	数学1 ↓ 数学2																必修 8単位
	物理1		物理2														
	コンピューターテラシー																
	スプリングセミナー		デザイン文化論														
	基礎表現1		文化と文明					技術者倫理		文明と資源							
専門科目 特別科目								Design Basics in English									
専門科目 導入科目	デザインスタジオ1(建築)		デザイン理論(建築)		デザインスタジオ2(建築)												必修 8単位
	図形の技術				建築のしくみ												
専門科目 基礎科目					建築材料		建築の空間と形態										必修 20単位
					構法スタジオ1		構法スタジオ2										
					デザインスタジオ3		デザインスタジオ4		デザインスタジオ5		デザインスタジオ6		デザインスタジオ7				必修 8単位
					建築計画1		建築計画2		建築デザイン論1		建築デザイン論2						
					西洋建築史		日本建築史		都市建築史		建築フォーラム						必修 28単位 以上
					材料の力学		都市建築史スタジオ		フィールドワーク		日本建築史実習		卒業制作1		卒業制作2		
					部材の力学		骨組の力学		空間の構造デザイン		デジタルスタジオ		卒業研究1(建築)		卒業研究2(建築)		
					建築生理心理1		建築気候		施工管理		建築法規(建築)						
					設備入門												
専門科目 展開科目																	
単位数合計	43				41				29				11				124

 : 学科必修科目
 : 資格認定推奨科目
 : 建築デザイン分野推奨科目

* 各年次履修科目登録上限49単位以内。必修52単位のほかに、専門科目展開科目の選択28単位以上。卒業所要単位124単位以上。

また、3年から4年への進級には、3年までのすべての必修科目44単位かつ合計90単位以上の取得済みが条件。

この表は系の履修推奨科目と科目間の関係を示すものであって、卒業や資格の条件を満たすためのすべての科目は表記していない。これ以外の科目は各自よく考えて履修登録すること

5.2 建築史・都市史分野

都市と建築の歴史を学び、それらが成立した社会的・文化的背景を把握することによって、歴史を学ぶことがいかに創造的な行為であるかを理解する。研究者、建築保存、建築設計、都市プランナーなどを志

	1年				2年				3年				4年				必修等						
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D							
外国語科目	英語1	英語2	英語3	英語4													必修 8単位						
基盤科目	数学1 物理1 イタリア語・イタリア文化 中国語・中国文化 スプリングセミナー 文化と文明 基礎表現1				技術者倫理												必修 8単位						
専門科目 導入科目	デザインスタジオ1(建築) → デザインスタジオ2(建築) ↓ 建築のしくみ ↓ デザイン理論(建築)																必修 8単位						
専門科目 基礎科目					建築材料 部材の力学 骨組の力学 材料の力学 建築整理心理1 建築気候 構法スタジオ1 構法スタジオ2				施工管理 建築法規(建築) 木造建築の構法				建築計画1 → 建築計画2 → 建築デザイン論1 → 建築デザイン論2 デザインスタジオ3 → デザインスタジオ4 → デザインスタジオ5 → 建築フォーラム ↓ 都市建築史スタジオ → フィールドワーク(建築) → 都市建築史 ↓ 西洋建築史 → 日本建築史 → 都市建築史 ↓ 日本建築史実習				卒業研究1(建築) → 卒業研究2(建築) 卒業制作1 → 卒業制作2				必修 20単位	選択科目 28単位以上	必修 8単位
専門科目 展開科目																							
単位数合計	33				35				21				8				97						

 : 学科必修科目
 : 資格認定推奨科目
 : 建築史・都市史分野推奨科目

* 各年次履修科目登録上限49単位以内。必修52単位のほかに、専門科目展開科目の選択28単位以上。卒業所要単位124単位以上。

また、3年から4年への進級には、3年までのすべての必修科目44単位かつ合計90単位以上の取得済みが条件。

この表は系の履修推奨科目と科目間の関係を示すものであって、卒業や資格の条件を満たすためのすべての科目は各自よく考えて履修登録すること。

5.3 環境分野

環境工学・建築設備の基礎知識をもとに、安全で健康、快適、利便性の高い建築・都市のサステナブルなデザインを行うことができる環境デザイナー／エンジニアを目指す。

	1年				2年				3年				4年				必修等
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	
外国語科目	英語1	英語2	英語3	英語4													必修 8単位
	イタリア語・イタリア文化		中国語・中国文化														
基盤科目	数学1		数理演習1														必修 8単位
	数学2		数理演習2														
	物理1		物理2														
	法学(日本国憲法)		文化と文明		環境とエネルギー		技術者倫理		文明と資源								
	コンピュータリテラシー						認知科学		地理空間分析基礎								
	基礎表現1																
	スプリングセミナー																
専門科目 導入科目	デザインスタジオ1(建築)		デザインスタジオ2(建築)														必修 8単位
			建築のしくみ														
専門科目 基礎科目					建築生理心理1		建築生理心理2										必修 20単位
					環境工学		建築気候										
							サステナブルデザイン		光・視環境		音・振動環境						
					設備入門						設備デザイン基礎						
					西洋建築史		日本建築史				デジタルスタジオ						
					建築計画1		建築計画2										
					デザインスタジオ3		デザインスタジオ4		環境デザインスタジオ								
					構法スタジオ1		構法スタジオ2		ビルディングワークショップ		木造建築の構法						
					建築材料				施工管理		建築法規(建築)						
					材料の力学												
					部材の力学		骨組の力学				建築フォーラム						
専門科目 展開科目													卒業研究1(建築)		卒業研究2(建築)		必修 8単位
													エンジニアリング スタジオ				選択 28単位 以上
													卒業制作1		卒業制作2		
単位数合計	41				44				28				11				124

 : 学科必修科目
 : 資格認定必須科目
 : 環境分野推奨科目

* 各年次履修科目登録上限49単位以内。必修52単位のほかに、専門科目展開科目の選択28単位以上。卒業所要単位124単位以上。

また、3年から4年への進級には、3年までのすべての必修科目44単位かつ合計90単位以上の取得済みが条件。

この表は系の履修推奨科目と科目間の関係を示すものであって、卒業や資格の条件を満たすためのすべての科目は表記していない。これ以外の科目は各自よく考えて履修登録すること。

5.4 構造分野

巨大な重量に常時耐え、地震や台風などの過酷な非常時にも安全堅牢な建物を科学と技術と叡智により合理的かつ美しく設計することのできる建築構造技術者・デザイナーを目指す。

	1年				2年				3年				4年				必修等																					
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D																						
外国語科目	英語1	英語2	英語3	英語4													必修 8単位																					
	イタリア語・イタリア文化		中国語・中国文化																																			
基盤科目	数学1	数学2	物理1	法学(日本国憲法)	コンピュータリテラシー	基礎表現1	スプリングセミナー	数理演習1	数理演習2	物理2	文化と文明	環境とエネルギー	技術者倫理	文明と資源			必修 8単位																					
専門科目 導入科目	デザインスタジオ1(建築)	デザインスタジオ2(建築)	建築のしくみ														必修 8単位																					
専門科目 基礎科目				建築計画1	デザインスタジオ3	西洋建築史	部材の力学	材料の力学	建築材料	構法スタジオ1	設備入門	建築生理心理1	建築計画2	デザインスタジオ4	日本建築史	骨組の力学	構法スタジオ2	建築気候	デザインスタジオ5	空間の構造デザイン	ビルディングワークショップ	材料のデザイン	建築の地盤力学	施工管理	建物の耐力	木造建築の構法	鉄筋コンクリートのデザイン	鋼のデザイン	構造計算プログラミング	建物の振動と耐震化	建築法規(建築)	エンジニアリングスタジオ	卒業制作1	卒業制作2	卒業研究1(建築)	卒業研究2(建築)	必修 8単位 選択 28単位 以上	
専門科目 展開科目																																						
単位数合計	41				36				30				11				118																					

 : 学科必修科目
 : 資格認定必須科目
 : 建築構造推奨科目

* 各年次履修科目登録上限49単位以内。必修52単位のほかに、専門科目展開科目の選択28単位以上。卒業所要単位124単位以上。
 また、3年から4年への進級には、3年までのすべての必修科目44単位かつ合計90単位以上の取得済みが条件。
 この表は系の履修推奨科目と科目間の関係を示すものであって、卒業や資格の条件を満たすためのすべての科目は表記していない。これ以外の科目は各自よく考えて履修登録すること。

5.5 建築構法・施工分野

建築物の構成方法や生産のしくみについて総合的な知識を有し、建築材料や施工方法の創意工夫を通して現代の社会的責任を果たすことのできる建築技術者を志向。

	1年				2年				3年				4年				必修等
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	
外国語科目	英語1	英語2	英語3	英語4													必修 8単位
基盤科目	数学1						技術者倫理										必修 8単位
	数学2																
	物理1			物理2													
	イタリア語・イタリア文化			文化と文明													
	イタリア語・イタリア文化			文化と文明													
	スプリングセミナー			デザイン文化論													
専門科目 導入科目	コンピュータテラシー																必修 8単位
	基礎表現1																
専門科目 基礎科目	デザインスタジオ1(建築)			デザインスタジオ2(建築)													必修 20単位
				建築のしくみ													
					デザインスタジオ3			デザインスタジオ4									
					建築計画1			建築計画2									
					西洋建築史			日本建築史									
					環境工学			サステイナブル デザイン									
					建築生理心理1												
					設備入門			建築気候									
					構法スタジオ1			構法スタジオ2									
					建築材料												
					部材の力学												
					材料の力学			骨組の力学									
	専門科目 展開科目																
単位数合計	37				38				25				13				113

 : 学科必修科目
 : 資格認定推奨科目
 : 構法・施工分野推奨科目

* 各年次履修科目登録上限49単位以内。必修52単位のほかに、専門科目展開科目の選択28単位以上。卒業所要単位124単位以上。
 また、3年から4年への進級には、3年までのすべての必修科目44単位かつ合計90単位以上の取得済みが条件。
 この表は系の履修推奨科目と科目間の関係を示すものであって、卒業や資格の条件を満たすためのすべての科目は表記していない。これ以外の科目は各自よく考えて履修登録すること。

カリキュラムマップ

各科目が属するディプロマポリシーに○を付記しています。

区分		学年	科目名	ディプロマポリシー 学位授与の方針についての目的や目標					
				DP1. 大学で学び得た事柄を良き社会人として人々の厚生と福利のために役立てることを倫理的な使命と考える	DP2. 建築家、建築技術者として社会から付託されている職能が安全かつ健康にして美しい建築・都市環境の創造とその保全にあることを理解し、その職業的責任を果たす覚悟がある	DP3. 修得した建築に関する基礎的な知識と技術を有効に活用して、様々な分野の協業関係者と相互理解を深め、協調的に取り組むながら、最良の成果を目指すことを第一義とする	DP4. 建築に関わる情報技術の習熟を通じて、複雑で多岐にわたるデータを適格に把握し正確に分析処理することができ、結果を解りやすく有用な表現形式に再構築し提供できる	DP5. 企画やデザイン提案、研究や報告内容について、論理的に記述し明解に口頭説明する能力、及び他者と建設的に討議討論する能力、並びにそれをいついかなる場においても発揮することのできる語学力を有する	
外国語科目	英語	1	英語 1						○
		1	英語 2						○
		1	英語 3						○
		1	英語 4						○
		1~4	英語 1 (補講)						○
		1~4	英語 2 (補講)						○
		1~4	英語 3 (補講)						○
		1~4	英語 4 (補講)						○
	3~	英語表現技術		○					○
	英語以外	1~	イタリア語・イタリア文化	○					○
1~	中国語・中国文化	○						○	
基盤科目	総合系	1・2・3	スプリングセミナー		○				
		2・3	技術者倫理	○					
		1~	基礎表現 1		○				○
		1~	基礎表現 2		○				○
		1~	コンピュータテラシー		○			○	
		1~	スポーツ総合演習	○					
		1~	認知科学	○					
		1~	デザイン文化論		○				
		1~	環境とエネルギー	○					
		2~	数理統計学		○			○	
		2~	デザイン思想史概論		○				
		3~	文明と資源		○				
		人文社会系	1~	文化と文明	○				
	1~		哲学	○					
	1~		現代企業論	○					
	1~		エコノミクス	○					
	1~		文化人類学	○					
	1~		知的財産権	○					
	1~		マーケティング	○					
	1~		法学概論	○					
	理工系	1・2・3	数学 1					○	
		1・2・3	物理 1					○	
		1~	数学 2					○	
		1~	物理 2					○	
		1~	数理演習 1					○	
		1~	数理演習 2					○	
		1~	バイオ・ケミカルエンジニアリング					○	
3~		地理空間分析基礎		○				○	

区分	学年	科目名	ディプロマポリシー 学位授与の方針についての目的や目標					
			DP1.大学で学び得た事柄を良き社会人として人々の厚生と福利のために役立てることを倫理的な使命と考える	DP2.建築家、建築技術者として社会から付託されている職能が安全かつ健康にして美しい建築・都市環境の創造とその保全にあることを理解し、その職業的責任を果たす覚悟がある	DP3.修得した建築に関する基礎的な知識と技術を有効に活用して、様々な分野の協業関係者と相互理解を深め、協動的に取り組みながら、最良の成果を目指すことを第一義とする	DP4.建築に関わる情報技術の習熟を通じて、複雑で多岐にわたるデータを適格に把握し正確に分析処理することができ、結果を解りやすく有用な表現形式に再構築し提供できる	DP5.企画やデザイン提案、研究や報告内容について、論理的に記述し明解に口頭説明する能力、及び他者と建設的に討議討論する能力、並びにそれをいかなる場においても発揮することのできる語学力を有する	
基礎科目	留学生	1～ 日本語 1						○
		1～ 日本語 2						○
		1～ 日本語 3						○
		1～ 日本語 4						○
		1～ 日本文化論	○					
		1～ 日本の工業技術	○					
専門科目	導入科目	1・2・3 建築のしくみ		○	○			
		1・2・3 デザインスタジオ 1 (建築)		○	○		○	
		1・2・3 デザインスタジオ 2 (建築)		○	○		○	
		1～ デザイン理論 (建築)		○	○			
		1～ 図形の技術		○	○			
	基礎科目	2・3 材料の力学		○		○		
		2・3 部材の力学		○		○		
		2・3 骨組の力学		○		○		
		2・3 建築生理心理 1		○		○		
		2・3 建築気候		○		○		
		2・3 デザインスタジオ 3		○	○		○	
		2・3 デザインスタジオ 4		○	○		○	
		2・3 構法スタジオ 1		○	○		○	
		2・3 構法スタジオ 2		○	○		○	
		2～ 建築計画 1		○	○			
		2～ 建築計画 2		○	○			
		2～ 建築生理心理 2		○		○		
		2～ 西洋建築史		○	○			
		2～ 環境工学		○		○		
		2～ 設備入門		○		○		
		2～ 建築材料		○		○		
		2～ 日本建築史		○	○			
		2～ 建築の空間と形態		○	○			
		2～ サステイナブルデザイン		○				
		2～ 都市建築史スタジオ		○	○		○	
		2～ 地図とGIS		○		○		
		2～ 都市・地域政策		○				
		2～ マテリアルサイエンス		○				
		2～ テクニカルライティング		○			○	
		2～ 福祉工学		○				

区分	学年	科目名	ディプロマポリシー 学位授与の方針についての目的や目標					
			DP1.大学で学び得た事柄を良き社会人として人々の厚生と福利のために役立てることを倫理的な使命と考える	DP2.建築家、建築技術者として社会から付託されている職能が安全かつ健康にして美しい建築・都市環境の創造とその保全にあることを理解し、その職業的責任を果たす覚悟がある	DP3.修得した建築に関する基礎的な知識と技術を有効に活用して、様々な分野の協業関係者と相互理解を深め、協動的に取り組みながら、最良の成果を目指すことを第一義とする	DP4.建築に関わる情報技術の習熟を通じて、複雑で多岐にわたるデータを適格に把握し正確に分析処理することができ、結果を解りやすく有用な表現形式に再構築し提供できる	DP5.企画やデザイン提案、研究や報告内容について、論理的に記述し明解に口頭説明する能力、及び他者と建設的に討議討論する能力、並びにそれをいついかなる場においても発揮することのできる語学力を有する	
専門科目	展開科目	3～ 建築の地盤力学			○		○	
		3～ 建築デザイン論 1			○			
		3～ 空間の構造デザイン			○		○	
		3～ 材料のデザイン			○		○	
		3～ 鉄筋コンクリートのデザイン			○		○	
		3～ 光・視環境			○		○	
		3～ 設備デザイン基礎			○	○	○	
		3～ 施工管理			○	○		
		3～ 建築デザイン論 2			○	○		
		3～ 建築フォーラム			○	○		
		3～ 都市建築史			○	○		
		3～ 建築法規(建築)			○	○		
		3～ 鋼のデザイン			○			○
		3～ 建物の耐力			○			○
		3～ 木造建築の構法			○	○		
		3～ 音・振動環境			○			○
		3～ 建物の振動と耐震化			○			○
		3～ デザインスタジオ 5			○	○		○
		3～ デザインスタジオ 6			○	○		○
		3～ 構造計算プログラミング			○			○
		3～ フィールドワーク (建築)			○	○		○
		3～ デジタルスタジオ			○	○		○
		3～ 環境デザインスタジオ			○	○		○
		3～ ビルディングワークショップ			○			○
		3～ 日本建築史実習			○			○
		3～ タウンマネジメント			○			
		3～ 公共空間デザイン及演習			○			
		3～ 品質マネジメント			○			
		3～ ランドスケープデザイン			○			
		3～ 都市デザイン			○			
		4 デザインスタジオ 7			○	○		○
		4 エンジニアリングスタジオ			○	○		○
		4 卒業研究 1 (建築)			○	○		○
4 卒業研究 2 (建築)			○	○		○		
4 卒業制作 1			○	○		○		
4 卒業制作 2			○	○		○		
特別科目	2～	Design Basics in English					○	